

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて伝統芸能は、生の舞台上で観ていただくものから映像作品、あるいは映像の生配信など様々な形で鑑賞されるものへと変化しました。そのお陰で観客層が広がったとも聞きます。伝統芸能の魅力が広がることは嬉しいことですね。



わたしたちは、子どもたちが日本の伝統芸能に触れるための「橋」づくりを応援します。

生活や遊びの中に根付く日本文化が

身体観に及ぼす影響

今西ひとみ

むすびの会 理事

帝京科学大学 准教授



筆者は自らの海外経験をもとに、異文化下では、幼児期や学童期に子どもが「自文化」の知識と誇りを持つことが、自己存在の礎となり、海外適応の効果的な支援となる類例を研究してきた。一例として、保護者の理由で海外に居住する際に、現地の言葉や文化に不慣れで肩身の狭い思いをするような時期にあっても、日本にいた時には目立たなかった「かけっこ」の速さや「ボール運動」の上手さなどについて現地で予期せぬ良い評価を経験することで、自信や自尊感情につながり、最終的には自身の異文化適応に役立ったと語る日本の子どもたちの存在が挙げられる。

一方で、国内における子どもの身体活動やあそびに目を向けてみると、幼児期からの手あそびや身体(からだ)あそびの中には、日本古来の「歌舞伎」、「能」、「狂言」などに代表される大ぶりの「所作」や「物言い」の片鱗を感じ、さらに保育施設・学校など普段の日常生活の中に、そうした事実を当たり前のように子どもたちが受け入れて遊んでいることに、驚きを隠せないのは筆者だけであろうか。

いずれにせよ、こうした国内外の状況を総括的に見てみると、大人が早急にすべきことは、生活やあそびの中に根付く日本の伝統文化について、その凝縮したエッセンスそのものの存在をきちんと子どもに意識づけておくことと思われる。これらの体験が、今を生きる日本の子どもに、あらゆる日常生活の場面で先祖と繋がっていることを覚醒させ、将来、乗り越えるべき試練に対座した際も支援的に働くことは間違いのないからである。

活動報告

1. 通常総会

2021.6月 第19回通常総会

新型コロナウイルス感染症対策の為、書面にて実施

2. 指導者紹介支援事業 (参加者12名)

1) 「親子でたしなむ茶の湯のころ」

講師：中澤宗寿先生 定員6組

2021.7.10(土)14:30~16:00

田園調布せせらぎハーモニー主催

せせらぎ館イベント

事前予約制

7.10 Sat.

「親子でたしなむ茶の湯のころ」

季節を感じ、人をもてなす茶の湯の世界、菓子を通して、初夏を楽しみ、和菓子作りのプチ創作もいたします。
(和菓子はお土産としてお持ち帰りいただけます。)
※感染対策として、マスク着用をお願いいたします。

時間 14:30~16:00 定員 6組 (12名)

会場 和室・第4集会室 参加費 1,500円

対象 5歳~小学生とその保護者
※小学3年生以上は、友人・兄弟での参加も可能

講師 表千家茶道 中澤宗寿

申込 6月25日(金) 10:00~HPにて受付



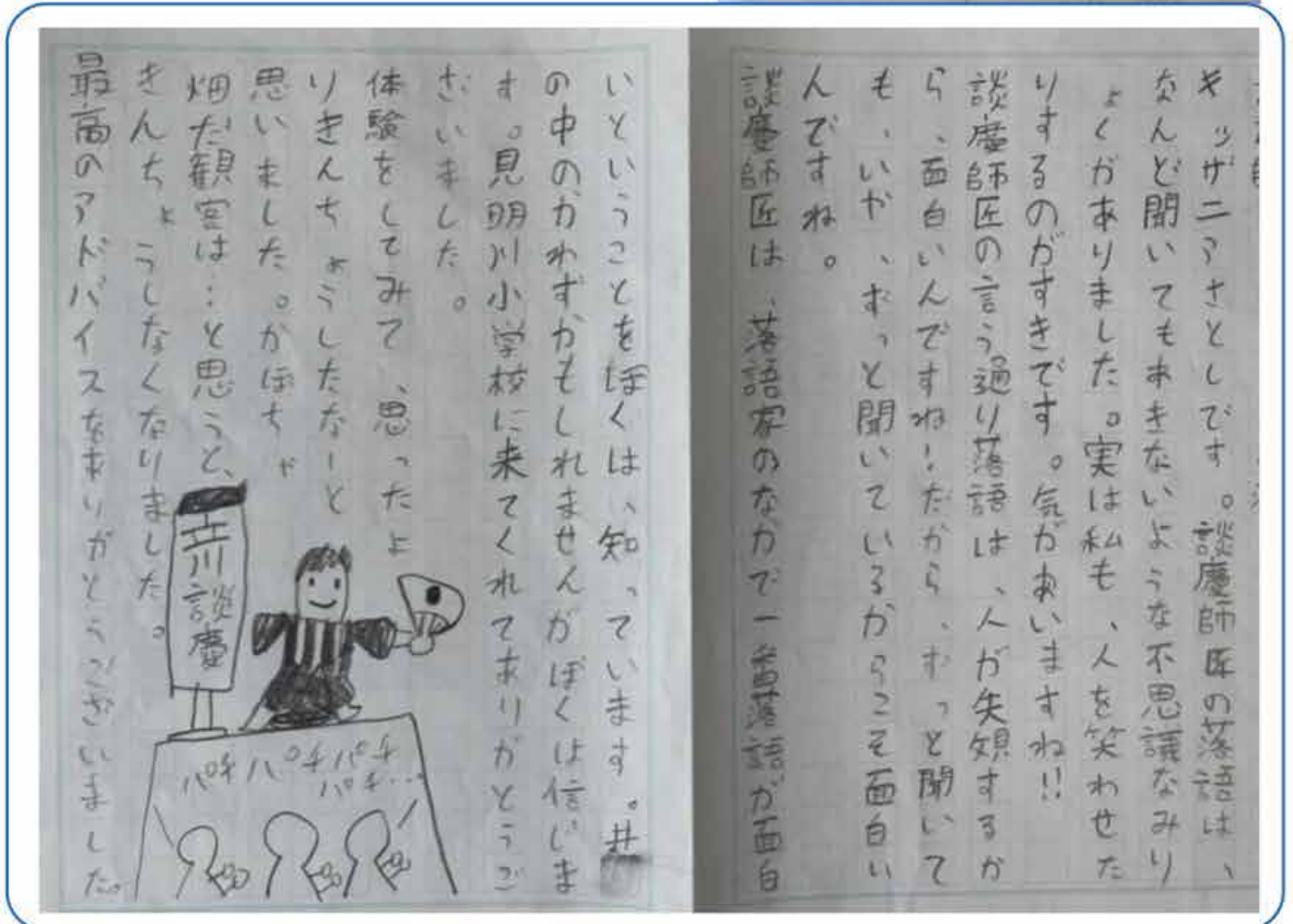
事務局より

感染症対策として人数の削減、間隔をあけるなどの工夫をして実施いたしました。お子さん、お母様それぞれがお菓子の紋様を作り、ころろを込めて抹茶を点て、お互いに差し上げました。中澤先生のお点前の様子をとても集中してご覧になっていました。

2) 落語についてのお話と落語講座

講師：立川談慶先生

2021.12.7 千葉県浦安市立 見明川小学校 (4年生 84名)



3) 日本の音楽の良さを心と体で感じとろう -日本の音楽の歴史-

2022.1.24 東京都府中市立若松小学校 5年生 112人

講師：わざをぎ 音楽教諭：塚越佐智子先生 事前学習と発表を含んだ本番の2日間の指導。本番では『長唄 越後獅子』を鑑賞後に三味線、箏、日本舞踊の担当に分かれてわざをぎさんと一緒に同曲をクラス毎に発表！



子どもたちの感想から

わざをぎの演奏鑑賞をして、私はすごくびっくりしました。踊りの人は楽器とすごく合っていて、鼓の音はすごくきれいでした。三味線はいろいろな音が出ていて、すぐに違う音に切り替わるのがすごいと思いました。太鼓はだんだん大きな音になっていくところが好きです。すべての楽器がすごく響いていてよかったです。歌の人は楽器となじんでいるな。また聴いてみたいと思うほどいい演奏会でした。(箏)

私は手も足もふにゃふにゃでださかったです。でも大智先生はテキパキしてかっこよかったです。歌舞伎の音楽は、音がピンとしているからかっこいいです。(踊り)

特に笛が気に入りました。スーっとおとがでてスーッと止まるのかと思ったらゆっくり音がなくなっていくのを聴いてとても驚きました。箏や三味線と同じで音がなくなるときにゆっくりと空気中に消えていくのと同じ感覚でした。また笛の音をききたいな。(箏)

三味線という楽器はバイオリンと違って[和]な雰囲気ではねたような音がします。オーケストラとは違う良さがあります。あたたかい抹茶ラテが飲みたくなるような優しい音色が特徴です。この楽器を聴くと気持ちがとても落ち着きます。三味線のきれいな音に歌や鼓が重なりとてもきれいな音楽でした。(箏)

2学期の12月くらいから毎日練習にいて頑張ってた楽しかった。もうすぐ発表、というとき緊張と少しさみしさがあって、また三味線を弾いてみたいと思った。(三味線)

音楽教諭 塚越佐智子先生の感想

このたびはおかげさまで夢を叶えさせていただきました。

体育室が、プロの皆さまから発する空気感に包まれ、あっという間に子どもたちを別世界へ誘ってくださいました。わざをぎの皆さまの熱いエネルギーと伝統文化に脈々と流れる美しい所作、そしてそこから表現される素晴らしい技に、子どもたちだけでなく、私たち教員皆が引き込まれました。

4) 茶道体験 田園調布特別支援学校

講師：中澤宗寿先生 高校1年生（43名）2年生（40名）3年生（38名）

2021.6.14, 6.21, 2022.2.28

事務局より

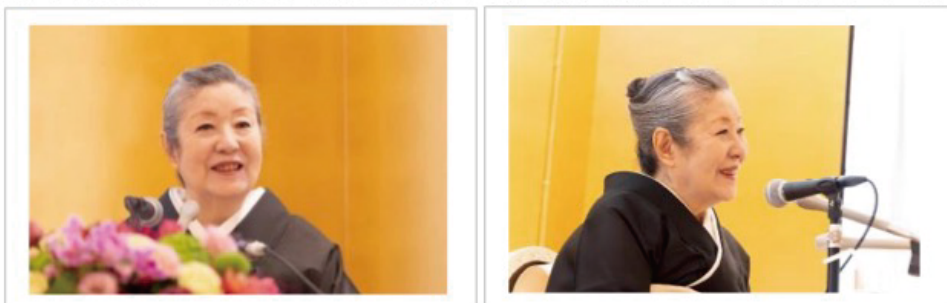
全校生徒に中澤先生のお点前をご覧いただき、一人ずつ一服の茶を飲んで頂きました。生徒さんたちがとても集中して体験してくださったので、先生方も普段とは違う生徒さんたちの様子に感激している言葉を伝えてくださいました。



3. 会員情報

琉球舞踊 志田房子先生

重要無形文化財「琉球舞踊立方」各個認定保持者（人間国宝）



日本舞踊 藤間清継先生 令和3年度文化庁芸術祭 優秀賞受賞



比較文化研究 今西ひとみ先生 ご著書出版
『米国の子ども向け地域スポーツ活動』

おめでとうございます !!

4. 新入会者

藤間 清継さま 日本舞踊家
青山美智恵さま 主婦
田中 真木さま 一般社団法人 checkitou

Welcome!!

むすびの会 HP <https://www.musubinokai.org>
むすびの会の活動は、facebook でも随時公開中です。

発行 2022年3月 特定非営利活動法人 日本伝統芸能教育普及協会 むすびの会
〒145-0071 東京都大田区田園調布 1-12-14-207 <https://www.musubinokai.org>